

学校教育目標	自分大好き 友だち大好き 潮田大好き ~学校教育の基盤:人権教育(自尊感情・関係形成・多文化共生) ○ねばり強く問題解決に取り組み、学ぶ喜びを実感できる子を育てます。(自尊感情:知) ○規範意識をもち、自信をもって他者とよりよい関係を築くことができる子を育てます。(自尊感情:関係形成:徳) ○自らの健康に関心をもち、自分の生活に生かせる子を育てます。(自尊感情:体) ○潮田の町や人やものとかかわり、地域と共に生きる子を育てます。(関係形成・多文化共生:公) ○自国の伝統や文化のよさを知り、いろいろな国とのつながりを大切にすることを育てます。(多文化共生:開)				
	創立 150 周年	学校長 小泉 博史	副校長 長井 将吾	2 学期制	一般学級: 20 個別支援学級: 6
学校概要	児童生徒数: 681 人 主な関係校: 潮田中学校 下野谷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	潮田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>	潮田中学校 潮田小学校 下野谷小学校	夢をもって自立できる子 ○キャリア教育を軸にした教育活動の推進 ・社会とつながる学習を進め、人の生き方に触れたり、社会の仕組みに気づいたりできる授業を展開する。 ・子どもが日々の学習に取り組む中で、今や将来の生活につながることを実感できる授業を展開する。 ・3校の授業研究に参加し授業交流を推進するとともに、合同の研修を実施する。

中期取組目標	<p>○他者との豊かなかかわりを通して、一人ひとりが自己有用感を持ち、安心して楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりを大切にした指導を充実させるとともに、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの思いを大切にしながら学力の向上を目指します。 ・自ら問題を発見し、他者とかかわりながら主体的・対話的に、粘り強く問題を解決する授業や活動を推進し、成就感、自己有用感を味わえるようにします。 ・自分の思いや考えを適切な表現で相手に伝える力や、相手の思いを受け止めて聞く力を育む教育を推進します。 ・学校を支えてくれる「人」(愛育会・共学舎・地域の人)とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心や感謝する心を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	学力向上	①学習意欲が高まり、自分の思いを進んで表現したくなるような授業の展開を工夫する。②自分の思いを適切な表現で相手に伝えられるように、日記や作文を書く活動を通して語彙を増やす。③全職員、一人一回以上、研究授業を行う。④各学年に専科教員等を配置し、個に応じた指導の充実を図る。⑤地域人材を生かした放課後・休日学習支援を積極的に推進する。
担当	研究部	
徳	人権教育	①うしおだYYに取り組み、外国につながる子どものアイデンティティの確立を図る。また、すべての児童が、うしおだYYや多文化共生授業で文化のちがいが多様性を認め、互いのよさを知ること、他者の思いによりそう心情を育てる。②校内人権研修を通して、教職員の人権意識や児童保護者理解を高め、児童も保護者も教職員も誰でも安心して過ごせる学校づくりを進める。
担当	人権部・国際担当	
体	健やかな体	①基本的な生活習慣を身に付けられるように、学校保健委員会を行う。②学校だよりや保健だより等で、保護者への協力を呼びかける。③体育学習や体育的行事の充実を図る。(研修の実施、特別委員会での検討 等) ④委員会活動で体力向上への取り組みを企画する。(長縄、短縄、ドッジボール、運動委員会 等)
担当	体育部	
公開	地域連携 共学舎 学校運営協議会	①潮田共学舎の4部門(見守り・学習サポート・読書サポート・環境整備)での学校支援が、充実した取組となるよう、定例会等で連携を図る。教員と共学舎と一緒に活動できるように計画を立てる。②学校運営協議会で決定した、「9年間で育む子ども像『夢をもって自立する子』」の実現を目指して、各校で具体的な取組を計画実行していく。
担当	教務部	
いじめ未然防止		①5月、12月にいじめアンケート、長期休業明けにも毎回アンケートを行う。YPの活動プログラムに積極的に取り組むことで、児童間同士の絆を深める。②人権週間では、「様々な違いを受け止め、自他を認める」をテーマにしたり、うしおだYYに参加して外国の文化に触れあったりして多様性を認める取り組みを行う。
担当	児童指導部・人権部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①研修や研究(人権研修・重点研究・メンター研等)に職員が目的意識をもって参加し、自身のキャリアアップにつなげられるようにする。②働きやすい環境づくりに努める。③日課表の改訂に伴い、会議の見直しを図る。
担当	教務・メンター・研究部	
多文化共生 (国際教室)		①国際教室での取り出し学習、入り込み指導、来日間もない子どもの日本語指導等により、学習に自信をもてるようにする。②手紙・面談の翻訳や通訳などを行う。③放課後学習支援で、宿題のサポートを行う。④うしおだYYを通して、子どもが、母国に誇りをもてるようにする。アイデンティティを確立させる。
担当	人権部・国際担当	
自分づくり教育 (キャリア教育)		特色ある潮田地域での学びを通じて、実生活や実社会と自分との関わりや人との出会い、人から学ぶことを大切に探究的な学習を展開する。また、にこフレ活動や委員会活動など様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮できる活動を行う。学んで振り返ったことをキャリアパスポートに蓄積し、新たな意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできるようにする。
担当	特活部・総合部	
特別支援教育		①個別支援学級を中心に、子どもたちの特性や発達段階に配慮した環境を整えていく。 ②子どもの特性を十分に把握し、それぞれに合った教材や指導方法を工夫するなど、個に応じたきめ細かい指導をしていく。特別支援教室の担当者として担任と情報交換をし、適切な支援を行っていく。
担当	特別支援教コーディネーター	
児童指導		①毎月、児童の様子や潮田スタンダードについて振り返りをし、全職員が共通して指導にあたる。 ②毎月、児童指導連絡会を行い、学級や学年で発生した事案を出し合い、対応について職員全体で共通理解を図る。
担当	児童指導部	